

製品名: MAP2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21068**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG,Kappa |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 0.2mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。 |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質 |
| 精製 | プロテイン A |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200 |
| 分子量 | Calculated MW:200kD;Observed MW:280kD |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | MAP2 |
| 別名 | MAP2;Microtubule-associated protein 2;MAP-2 |
| 遺伝子 ID | 4133.0 |
| SwissProt ID | P11137 |
| 免疫原 | 標的タンパク質に対応する合成ペプチド |

背景

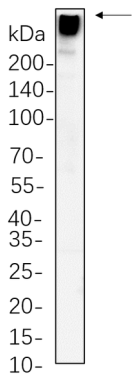
細胞局在: 細胞質、細胞骨格。細胞投射、樹状突起。この遺伝子は、微小管関連タンパク質ファミリーに属するタンパク質をコードしています。このファミリーのタンパク質は、神経発生の重要なステップである微小管の組み立てに関与していると考えられています

す。ラットとマウスにおける類似遺伝子の産物は、神経細胞特異的な細胞骨格タンパク質であり、樹状突起に多く含まれていることから、神経細胞発生における樹状突起の形状決定と安定化に関与していることが示唆されています。異なるアイソフォームをコードする、選択的スプライシングを受けた多数のバリエーションが報告されています。[RefSeq 提供、2010年1月]

研究分野

-

画像データ



Neuro-2a 全細胞ライセートを 10% SDS-PAGE で分離し、膜を MAP2 ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でブロットニングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。